

平成26年度リサイクル援助事業

報告書

アルゼンチン共和国
ブエノスアイレス州 アルミランテ・ブラウン市義勇消防隊



寄贈はしご車



一般社団法人 日本外交協会

海外援助事業

E-mail : recycle@spjd.or.jp

TEL 03-5401-2121/FAX 03-5401-2124

**ご報告：平成26年度「アルミランテ・ブラウン市義勇消防隊中古はしご消防車整備計画」
日本国外務省 ODA(政府開発援助)草の根・人間の安全保障無償資金協力事業**

平成26年度在アルゼンチン共和国日本大使館「草の根・人間の安全保障無償資金協力」寄贈事業のもと、同国ブエノスアイレス州のアルミランテ・ブラウン市義勇消防隊へ日本の自治体より無償譲渡頂いたはしご車を寄贈いたしました。

車両の現地到着後2015年11月、(株)モリタテクノスの協力により現地へ専門家を派遣いただき、寄贈車両を使った操作・メンテナンスに関する技術指導研修を行いました。

<寄贈概要>
位置関係

アルゼンチン共和国 ブエノスアイレス州 アルミランテ・ブラウン市



Google Map より

寄贈先：アルゼンチン共和国 ブエノスアイレス州
アルミランテ・ブラウン市義勇消防隊

寄贈物品：はしご車 1台 (横浜市供出)

寄贈資金：在アルゼンチン共和国日本大使館ODA
「草の根・人間の安全保障無償資金協力」による支援

輸出時期：2015年6月

研 修：時 期 2015年11月3日～18日 (16日間、移動日を含む)
指導員 株式会社モリタテクノス 高野 聡氏
参加者 アルミランテ・ブラウン市義勇消防隊 15名
調整員兼通訳 (一社)日本外交協会 事務局長 寺田 恭子

<現地写真>

<p>1</p>	<p><車両確認></p> <p>寄贈はしご車の状態確認、説明を行う指導員の(株)モリタテクノス高野 聡氏(右端)</p>	
<p>2</p>	<p><取り扱い指導></p> <p>バスケットの取り扱いをする高野氏(中央)</p> <p>参加者は熱心に高野氏の説明に聞き入り、メモを取る姿も見られた</p>	
<p>3</p>	<p><取り扱い指導></p> <p>はしご車の放水操作訓練</p> <p>日本製消防車へ送水するため、現地側では媒介金具を製造し準備した</p>	

写真データはお送りすることが可能です。お手数ですがお問い合わせ下さい。

<p>4</p> <p><救出訓練></p> <p>保有する消防車両を建物に見立て、はしご車で救出訓練を行った</p>		
<p>5</p> <p><救出訓練></p> <p>はしご車バスケットへ担架を取り付けての救出も</p>		
<p>6</p> <p><救出訓練></p> <p>低い電線の多い市街地で、より実践的な梯体操作を行う</p>		

写真データはお送りすることが可能です。お手数ですがお問い合わせ下さい。

<p>7</p>	<p><引渡式></p> <p>スピーチをする在アルゼンチン日本国大使館 福嶋教輝(ふくしまあつのり)・特命全権大使</p> <p>寄贈車両が未永く活用されることを願うと同時に、100年以上も前からアルミランテ・ブラウンに日系人社会が定着し、友好関係が構築されてきたことに触れ感謝の意を述べた</p>	
<p>8</p>	<p><引渡式></p> <p>研修成果が披露され、マスコミからインタビューをうけるアルミランテ・ブラウン市 ボレティエリ市長(写真中央)と福嶋大使(右隣)</p>	
<p>9</p>	<p><修了式></p> <p>義勇消防隊側から記念品の盾が、日本外交協会とモリタテクノス高野氏からは修了証が手渡された</p> <p>左から、研修通訳をいただいた臼木順一氏、日本外交協会寺田恭子事務局長、モリタテクノス高野氏</p>	

写真データはお送りすることが可能です。お手数ですがお問い合わせ下さい。

<p>10</p>	<p><その他・現地の様子></p> <p>車両寄贈先となったアルゼンチン国のアルミランテ・ブラウン市の風景</p> <p>静かな住宅地で、工業団地も点在する</p>	
<p>11</p>	<p><その他・現地の様子></p> <p>アルミランテ・ブラウン市義勇消防隊本部</p> <p>屋根付で立派な消防署となっており、車両の管理体制も整っている</p>	
<p>12</p>	<p><その他・現地の様子></p> <p>義勇消防隊の所有する消防車両</p> <p>欧州製の大型水槽車や救助工作車などが目立つ</p>	

写真データはお送りすることが可能です。お手数ですがお問い合わせ下さい。